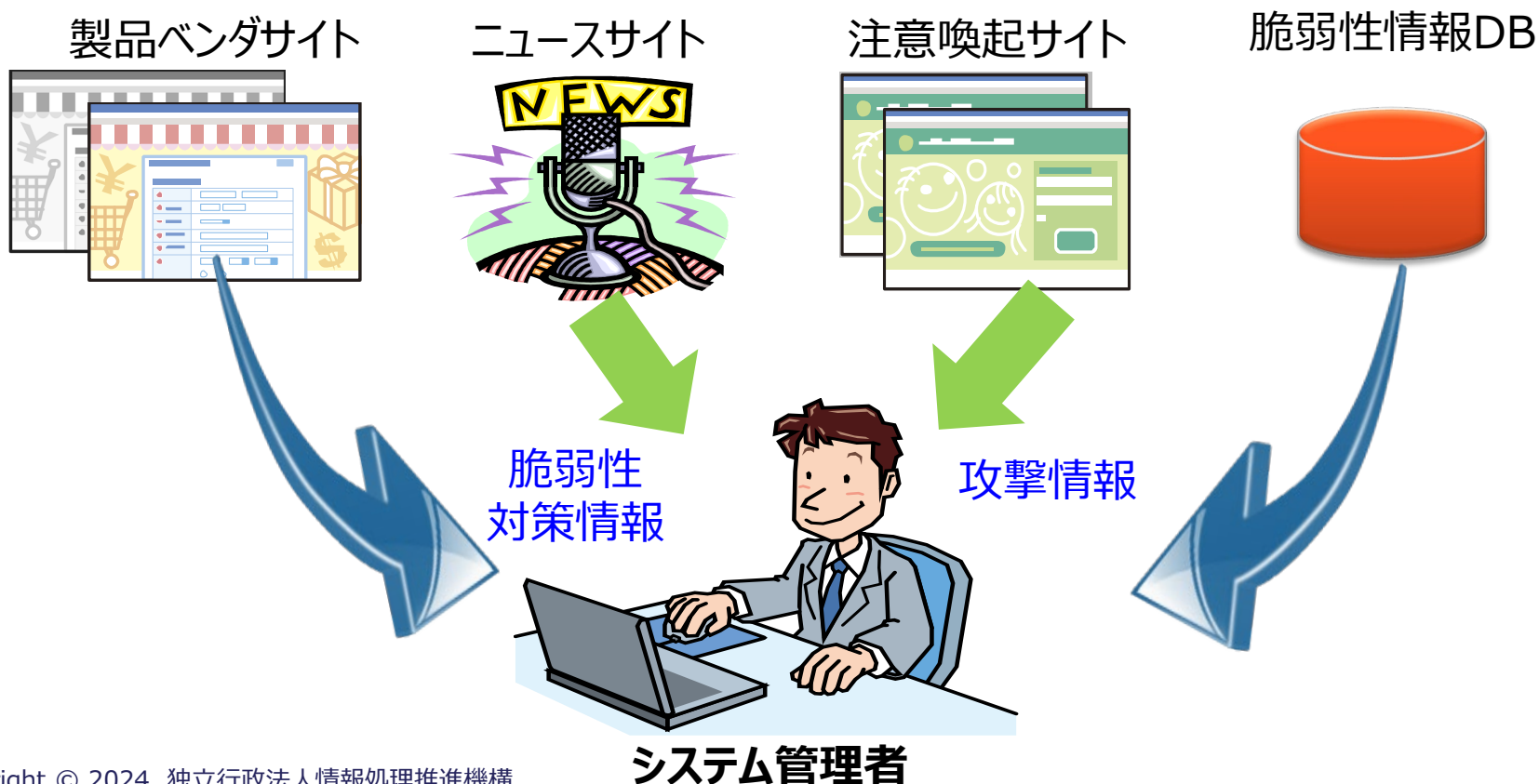


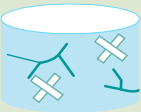

2. 脆弱性関連情報の収集

■ 脆弱性関連情報とは？

- 脆弱性対策を実施する際の判断要素となる情報
- 情報の内容も、情報元も様々



■ 例えば、脆弱性対策の参考となる情報として以下のものが考えられる。

情報	内容	活用例
脆弱性情報 	脆弱性の内容、脆弱性の深刻度、影響を受けるバージョン、対策の有無、対策方法 など	脆弱性の深刻度の評価、影響の調査、対策や回避策の実施
攻撃情報 	攻撃コードの公開状況、実際の攻撃の有無 など	対策の緊急度の調査

■ ベンダアドバイザリ

- ベンダ（開発者）が製品の脆弱性情報・対策情報を提供
 - 製品ベンダのサイトやブログ（セキュリティアドバイザリ）

Microsoft MSRC | セキュリティ更新プログラム | 謝辞 | 開発者

Windows SmartScreen のセキュリティ機能のバイパスの脆弱性

CVE-2023-24880
セキュリティ上の脆弱性
リリース日: 2023年3月14日

Assigning CNA: Microsoft

[CVE-2023-24880](#)

影響: セキュリティ機能のバイパス、最大深刻度: 警告


CVSS:3.1 5.4 / 5.0

Metric	Value
▼ ベーススコアメトリック (8)	
▶ 攻撃区分	▶ ネットワーク
▶ 攻撃条件の複雑さ	▶ 低
▶ 必要な特権レベル	▶ なし
▶ ユーザー関与レベル	▶ 要
▶ スコープ	▶ 変更なし
▶ 機密性	▶ なし
▶ 整合性	▶ 低
▶ 可用性	▶ 低
▼ デンボラスコアメトリック (3)	
▶ 攻撃される可能性	▶ 攻撃可能
▶ 利用可能な対策のレベル	▶ 正式

■ 注意喚起サイト

■ 広く使われている製品の脆弱性を周知し、対策を呼び掛ける

- 国内：JPCERT/CC、警察庁、IPA等
- 海外：CISA等

	
公開日：2020/02/18 最終更新日：2020/02/18	
JVN#89259622 WordPress 用プラグイン Easy Property Listings におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	
概要	WordPress 用プラグイン Easy Property Listings には、クロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性が存在します。
影響を受けるシステム	<ul style="list-style-type: none">• Easy Property Listings 3.4 より前のバージョン
詳細情報	Merv Barrett が提供する WordPress 用プラグイン Easy Property Listings には、クロスサイトリクエストフォージェリ (CWE-352) の脆弱性が存在します。
想定される影響	当該製品にログインした状態のユーザが、細工されたページにアクセスした場合、意図しない操作をさせられる可能性があります。
対策方法	アップデートする 開発者が提供する情報をもとに、最新版にアップデートしてください。
ベンダ情報	ベンダ リンク Merv Barrett Easy Property Listings

■ ニュース記事

■ 話題になっているセキュリティ情報を確認するのに便利

- 国内 : ZDNet Japan、SecurityNext、CNET、ITMedia等
- 海外 : Register、ComputerWorld等



■ 話題性に欠ける製品や脆弱性は基本的に扱われない

出典 : <https://japan.zdnet.com/article/35144536/>

■ 脆弱性情報データベース

■ 脆弱性情報をデータベース化して提供

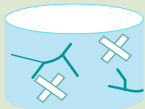

検索機能などにより、ピンポイントでの情報収集が可能

- 国内：JVN iPedia等
- 海外：NVD等

The screenshot displays the JVN iPedia website interface. At the top, it shows the current number of registered items (114,606) and a search bar. The main content area features a search box with a '検索' (Search) button and a '詳細検索' (Advanced Search) button. Below the search box, there is a section titled 'お知らせ' (Notice) with a message about a survey and a link to the survey form. At the bottom, there is a section titled 'JVN iPediaで注目されている脆弱性' (Vulnerabilities being highlighted on JVN iPedia) with a list of three items:

- 1. [JVND-2020-000016](#)
「Aterm WF1200CR、WG1200CR および WG2600HS における複数の OS コマンドインジェクションの脆弱性」
- 2. [JVND-2020-001591](#)
「三菱電機製 MELSEC C言語コントローラユニットおよび MELIPC シリーズ MI5000 における複数の脆弱性」
- 3. [JVND-2015-008567](#)
「Tor における脆弱性」

■ 攻撃情報等も脆弱性対策の参考となる

情報	内容	活用例
脆弱性情報 	脆弱性の内容、 脆弱性の深刻度、 影響を受けるバージョン、 対策の有無、 対策方法 など	脆弱性の深刻度の評価、 影響の調査、 対策や回避策の実施
攻撃情報 	攻撃コードの公開状況、 実際の攻撃の有無 など	対策の緊急度の調査

■ ベンダアドバイザリ・注意喚起サイト

■ 脆弱性情報の一部として、攻撃の発生状況や攻撃コードの有無に関する情報を公開していることがある

- ベンダアドバイザリ : Microsoft、Adobe、Oracle等
- 注意喚起サイト : JPCERT/CC、警察庁、IPA等

Windows SmartScreen のセキュリティ機能のバイパスの脆弱性

CVE-2023-24880
セキュリティ上の脆弱性
リリース日: 2023年3月14日
Assigning CNA: Microsoft
[CVE-2023-24880](#)

影響: セキュリティ機能のバイパス 最大深刻度: 警告
CVSS:3.1 5.4 / 5.0

Metric	Value
> ベーススコアメトリック (0)	
> テンポラルスコアメトリック (0)	

これらのメトリックの定義の詳細については、[Common Vulnerability Scoring System](#) を参照してください。

悪用可能性

次の表は、最初の公開時点でのこの脆弱性の悪用可能性評価をまとめたものです。

Publicly Disclosed	悪用	Latest Software Release
あり	あり	悪用の事実を確認済み

悪用可能性評価より
→悪用 あり

■ ニュース記事

- 組織等への攻撃に使われた脆弱性の場合、ニュース記事やセキュリティベンダの分析レポート等に記載されることがある
 - ニュース : ZDNet Japan、SecurityNext、CNET、マイナビ等

ZDNet Japan 海外発 デジタル変革 CIO ITインフラ セキュリティ クラ

ウィルスバスターに脆弱性情報、悪用攻撃が発生

ZDNet Japan Staff 2019-10-28 13:38

シェア Tweet noteで書く Pocket 20

トレンドマイクロは10月28日、法人向けのセキュリティ対策製品「ウィルスバスター コーポレートエディション」にディレクトリトラバーサル脆弱性が存在し、この脆弱性を悪用するサイバー攻撃を確認したと発表した。

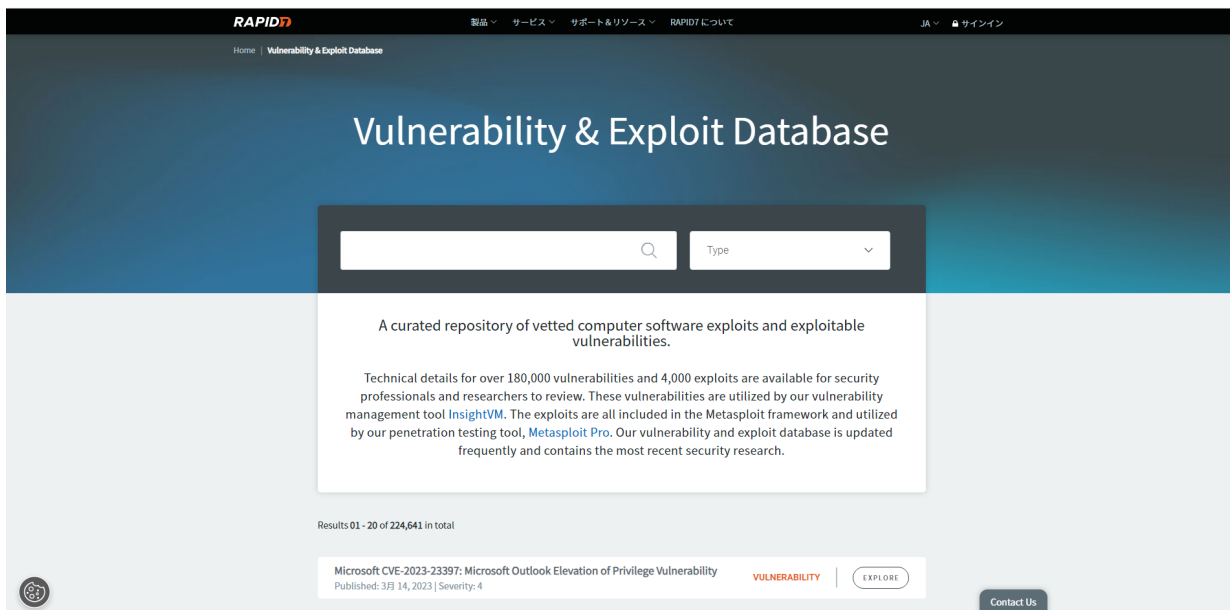
会社によると今回の脆弱性「CVE-2019-18187」は、ウィルスバスター コーポレートエディション 11.0とXG、XG SP1に影響する。攻撃者は、この脆弱性を悪用して該当製品のサーバーに任意のzip形式のファイルをアップロードし、このファイルをサーバー上の特定フォルダの下に展開できる。これにより、管理コンソールで使用しているウェブサービスのアカウントで任意コードを実行できるようになるという。

攻撃の具体的な内容

■ 攻撃コードデータベース

■ 脆弱性等を悪用する攻撃コード (Exploit : エクスプロイト) をデータベース化して提供

- Metasploit、Exploit DB等



※攻撃情報を検証する場合は、他に影響を与えないようご注意ください。

あちこち見てはみたけれど・・・

製品ベンダのサイトに載っている脆弱性と、ニュース記事の脆弱性は同じもの？

「深刻な脆弱性が発見されました」ってあるけど、どのくらい深刻なの？
理由は？



脆弱性情報の収集に役立つ キーワードについて知ろう



■ 脆弱性情報を効率的に収集する為に有効なキーワード



・・・脆弱性を一意に識別する番号



・・・脆弱性のタイプを体系的に分類する番号



・・・脆弱性の深刻度を評価する数値指標



製品ベンダのアドバイザー、セキュリティサイトの
注意喚起、ニュース記事等でも広く使用される

これらのキーワードの解説資料

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/scap/index.html>

CVEとは

～発見された脆弱性に一意の番号を割り当て、識別を可能に～

■ Common Vulnerabilities and Exposures (共通脆弱性識別子)



CVE識別番号の構成

CVE-西暦-連番

CVE-2018-1000

CVE-2018-10000

CVE-2018-1000000

連番は4桁から始まり、
必要に応じて桁を拡張

- 様々な情報元が公開する脆弱性情報について、
 - 同じ脆弱性に関する情報なのかを見分ける
 - CVEを介して情報を紐づける

CWEとは

～脆弱性のタイプを体系立てて分類し、どんな脆弱性が示す～

■ Common Weakness Enumeration (共通脆弱性タイプ一覧)



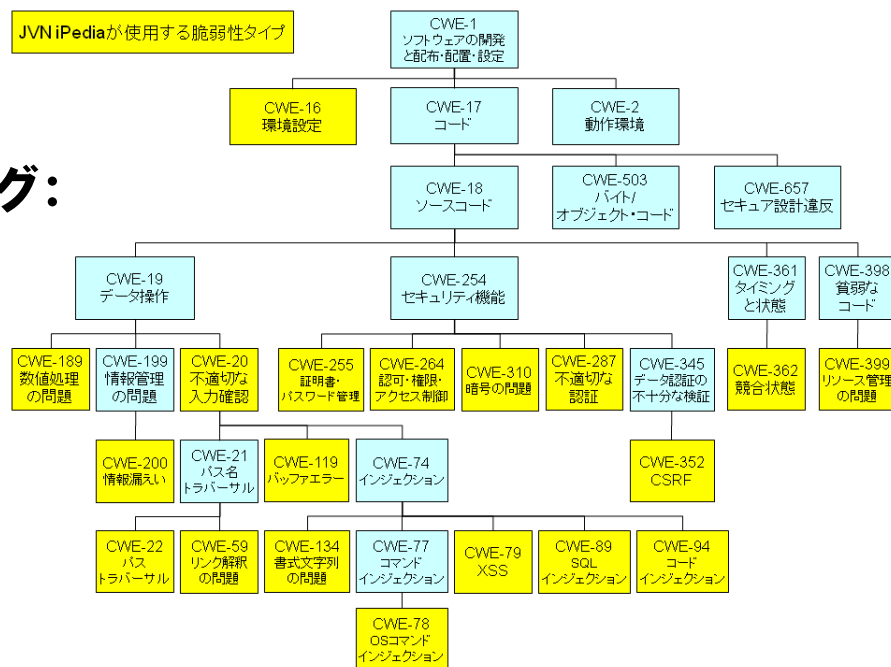
■ タイプから脅威や危険性の想定も可能

【CWE-79】クロスサイトスクリプティング:

- ・正規サイトにおける偽ページの表示
- ・他の不正サイトへ誘導させられる

【CWE-89】SQLインジェクション:

- ・データベースを不正に操作される



CVSSとは

～脆弱性の深刻度を数値で示す～

- **C**ommon **V**ulnerability **S**coring **S**ystem
(共通脆弱性評価システム)
- 脆弱性の深刻度を0.0～10.0のスコアで評価

深刻度低

0.0

深刻度高

10.0



脆弱性の深刻度を表すバロメータとして
CVSSが活用されている

次の3章・4章で詳しく見ていきます！

■ 脆弱性関連情報の収集

■ 脆弱性情報の収集

- ✓ ベンダアドバイザリ
- ✓ 注意喚起サイト
- ✓ ニュース記事
- ✓ 脆弱性情報データベース

■ 攻撃情報の収集

- ✓ ベンダアドバイザリ
- ✓ 注意喚起サイト
- ✓ ニュース記事
- ✓ 攻撃コードデータベース

■ キーワード

- ✓ CVE、CWE、CVSS

